



2020年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月11日

上場会社名 粧美堂株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7819 URL <https://www.shobido-corp.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺田 正秀
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 齊藤 政基 (TEL) 03-3472-7890
 四半期報告書提出予定日 2020年5月14日 配当支払開始予定日 2020年6月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (動画配信のみ)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期第2四半期の連結業績(2019年10月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第2四半期	7,593	△13.4	178	△5.1	185	△11.5	101	△15.3
2019年9月期第2四半期	8,772	△1.6	187	△1.5	209	4.4	119	5.5

(注) 包括利益 2020年9月期第2四半期 161百万円(123.3%) 2019年9月期第2四半期 72百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第2四半期	7.58	—
2019年9月期第2四半期	8.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第2四半期	14,689	5,325	35.9
2019年9月期	12,848	5,230	40.3

(参考) 自己資本 2020年9月期第2四半期 5,275百万円 2019年9月期 5,178百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期	—	5.00	—	5.00	10.00
2020年9月期	—	5.00	—	—	—
2020年9月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年9月期の連結業績予想(2019年10月1日～2020年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

新型コロナウイルス感染症の拡大により、業績に影響を与える不確定な要素が多く、数値予測を示すことが難しい状況となりました。このため、2019年11月11日公表の業績予想を取り下げ、「未定」とさせていただきます。今後新型コロナウイルスによる感染症の業績への影響を慎重に見極め、合理的な予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

期中における重要な子会社の異動に関する注記

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年9月期2Q	13,410,000株	2019年9月期	13,410,000株
2020年9月期2Q	177株	2019年9月期	127株
2020年9月期2Q	13,409,866株	2019年9月期2Q	13,409,873株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、2020年5月21日に予定しておりました決算説明会を中止し、2020年5月26日に当社ウェブサイトにて決算説明動画を配信する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2019年10月1日～2020年3月31日)におけるわが国経済は、前半までは米中貿易摩擦問題や日韓関係の悪化等外部環境は厳しかったものの、国内景気は緩やかながら回復基調を維持しておりました。しかしながら、10月に実施された消費税率の引き上げにより消費マインドの低迷が続く中、2020年1月以降は中国の武漢市に端を発した新型コロナウイルス感染症の流行により、景気は急速に悪化しました。取引先企業の一部でインバウンド関連の需要が急減したほか、主要な商品供給元である中国での流行拡大により、商品調達面に影響が出ました。更に、国内で感染者が増加したことを受けて政府や自治体から外出の自粛要請がなされるなど経済活動が全般的に停滞し、個人消費に関しても厳しい状況が続きました。

当連結会計年度は「粧美堂(SHOBIDO)の真のメーカー化を目指して事業構造を見直し、ブランド力を強化する」を行動指針として、主力の3事業(ZACCA(雑貨)事業、OEM事業、コスメコンタクト®(注)事業)それぞれの収益力強化を図ることに加えて、主要商品のブランディングに注力しております。海外市場については、引き続きコスメコンタクト®を中心に売上拡大に向けた施策を進めております。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、商品、取引先別に採算性を見直しを継続したことに加え、新型コロナウイルス感染症の流行による消費停滞の結果、対前年同期比13.4%減の7,593,698千円と大幅な減収となりました。生産コストの削減、取引条件の見直し等に取り組んだことで、差引売上総利益率は29.2%と前年同期比0.2ポイント改善したものの、差引売上総利益額は、2,216,671千円(対前年同期比12.8%減)となりました。販売費及び一般管理費は、全般的に抑制を図り、対前年同期比13.4%減の2,038,548千円となりました。この結果、営業利益は178,122千円(対前年同期比5.1%減)、経常利益は185,636千円(対前年同期比11.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は101,655千円(対前年同期比15.3%減)となりました。

(注) コスメコンタクト®は、瞳を大きく魅力的に見せる、マスカラやアイライナーのようなメイク発想のコンタクトレンズです。

当社グループの事業セグメントは、単一の事業セグメントではありますが、取扱商品を区分した売上高の概況は次のとおりであります。

① 化粧雑貨

当分類には、メイク関連用品、ヘアケア関連用品、トラベル用品、バス・エステ・健康関連グッズ等の売上が含まれます。当第2四半期連結累計期間の売上高は、注力カテゴリーである化粧品、キッズコスメ等が引き続き好調であったことに加え、新型コロナウイルス感染症の流行により携帯用のボトル需要が増加するなど一部に健闘した商品群があったものの、期初から取扱い商品のアイテム数の絞り込み等を継続していたところに消費全般の急速な落ち込みが加わり、4,547,864千円(対前年同期比7.9%減)となりました。

② コンタクトレンズ関連

当分類には、コンタクトレンズ、コンタクトレンズケア用品の売上が含まれます。当第2四半期連結累計期間の売上高は、度ありレンズの売上は比較的堅調であるものの、コンタクトレンズ商品のブランド数及び得意先の選択と集中を継続していること等により、1,487,885千円(対前年同期比8.9%減)となりました。

③ 服飾雑貨

当分類には、バッグ、ポーチ・ケース、サイフ類、その他服飾小物の売上が含まれます。当第2四半期連結累計期間の売上高は、キャラクター商品を中心に企画数の絞り込み等を行ったことや一部取引先でのインバウンド需要の減少の影響を受け、980,501千円(対前年同期比24.9%減)となりました。

④ その他

当分類には、生活雑貨、文具、行楽用品、ギフト商品等の売上が含まれます。当第2四半期連結累計期間の売上高は、ギフト商品の企画数を減らしたことに加えて、急激な消費の低下により文具、行楽用品等の季節商材が不振だったことから、577,447千円(対前年同期比35.4%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産)

①資産

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,840,617千円増加し、14,689,416千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて711,239千円増加し、10,894,123千円となりました。

これは主に、現金及び預金が1,034,424千円、為替予約が91,446千円増加したことに対し、受取手形及び売掛金が347,111千円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1,129,377千円増加し、3,795,293千円となりました。

これは主に、有形固定資産が1,196,126千円増加したことに対し、投資その他の資産のその他が81,872千円減少したこと等によるものであります。

②負債

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて1,746,120千円増加し、9,364,166千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて76,460千円増加し、4,390,253千円となりました。

これは主に、1年内返済予定の長期借入金が299,400千円増加したことに対し、支払手形及び買掛金が53,081千円、未払法人税等が61,811千円、賞与引当金が50,349千円、その他が51,097千円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて1,669,660千円増加し、4,973,913千円となりました。

これは主に、長期借入金1,564,000千円、その他が117,106千円増加したこと等によるものであります。

③純資産

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて94,496千円増加し、5,325,249千円となりました。

これは主に、利益剰余金が34,606千円、繰延ヘッジ損益が62,506千円増加したこと等によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、期首残高に比べて1,532,683千円増加し、4,686,336千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、獲得した資金は、452,887千円(対前年同期比309.7%増)となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益185,666千円計上するとともに、売上債権の減少343,076千円、たな卸資産の減少77,453千円があったこと、賞与引当金の減少△50,349千円、法人税等の支払額△93,515千円があったこと等によるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果、使用した資金は、△708,473千円(対前年同期比39.6%増)となりました。

これは主に、定期預金の純減少額498,259千円があったこと、有形固定資産の取得による支出△1,215,348千円があったこと等によるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果、獲得した資金は、1,796,445千円(対前年同期比79.3%増)となりました。

これは主に、長期借入れによる収入2,800,000千円があったこと、長期借入金の返済による支出△936,600千円があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期累計期間の業績につきましては、2020年1月以降、中国の武漢市に端を発した新型コロナウイルス感染症の流行拡大により、調達面、販売面でマイナス影響が一部で出始めました。

さらに、4月以降は国内での感染者増加に歯止めがかからないことを受けて政府が緊急事態宣言を発出し、自治体等から人々に外出の自粛が要請されていることに加え、小売店舗の営業自粛など、2020年9月期連結業績予想に関して現時点では業績に影響を与える不確定な要素が多く、数値予測を示すことが難しい状況となりました。このため、2019年11月11日に公表させていただきました2020年9月期連結業績予想を取り下げ、「未定」とさせていただきます。今後新型コロナウイルス感染症による業績への影響を慎重に見極め、合理的な予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

詳細につきましては、本日公表しておりおます「2020年9月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,253,652	6,288,076
受取手形及び売掛金	2,914,761	2,567,649
商品	1,497,977	1,423,620
貯蔵品	93,697	93,012
為替予約	183,239	274,685
その他	242,053	249,575
貸倒引当金	△2,496	△2,496
流動資産合計	10,182,883	10,894,123
固定資産		
有形固定資産	1,724,039	2,920,165
無形固定資産	60,146	55,036
投資その他の資産		
投資有価証券	301,157	321,804
その他	581,084	499,211
貸倒引当金	△512	△925
投資その他の資産合計	881,729	820,090
固定資産合計	2,665,915	3,795,293
資産合計	12,848,799	14,689,416
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,031,564	1,978,483
1年内返済予定の長期借入金	1,556,604	1,856,004
未払法人税等	105,203	43,392
賞与引当金	155,800	105,451
返品調整引当金	41,400	34,800
その他	423,219	372,122
流動負債合計	4,313,792	4,390,253
固定負債		
長期借入金	3,149,500	4,713,500
役員退職慰労引当金	99,549	87,950
資産除去債務	32,207	32,361
その他	22,996	140,102
固定負債合計	3,304,253	4,973,913
負債合計	7,618,046	9,364,166

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	545,500	545,500
資本剰余金	264,313	264,313
利益剰余金	4,168,572	4,203,178
自己株式	△71	△87
株主資本合計	4,978,314	5,012,904
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	46,970	48,282
繰延ヘッジ損益	124,175	186,681
為替換算調整勘定	28,584	27,270
その他の包括利益累計額合計	199,730	262,234
非支配株主持分	52,708	50,110
純資産合計	5,230,753	5,325,249
負債純資産合計	12,848,799	14,689,416

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2020年3月31日)
売上高	8,772,778	7,593,698
売上原価	6,229,417	5,383,627
売上総利益	2,543,361	2,210,071
返品調整引当金戻入額	41,900	41,400
返品調整引当金繰入額	44,500	34,800
差引売上総利益	2,540,761	2,216,671
販売費及び一般管理費	2,353,159	2,038,548
営業利益	187,601	178,122
営業外収益		
受取利息	2,329	3,880
受取配当金	4,808	2,584
受取手数料	5,741	5,345
不動産賃貸収入	2,584	18,137
為替差益	17,614	3,560
その他	1,898	1,218
営業外収益合計	34,976	34,725
営業外費用		
支払利息	12,246	10,695
不動産賃貸費用	466	16,348
その他	215	166
営業外費用合計	12,928	27,211
経常利益	209,649	185,636
特別利益		
投資有価証券売却益	14,631	30
特別利益合計	14,631	30
税金等調整前四半期純利益	224,281	185,666
法人税、住民税及び事業税	93,762	35,234
法人税等調整額	10,523	51,338
法人税等合計	104,285	86,573
四半期純利益	119,996	99,093
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	-	△2,561
親会社株主に帰属する四半期純利益	119,996	101,655

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2020年3月31日)
四半期純利益	119,996	99,093
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△39,675	1,312
繰延ヘッジ損益	△777	62,506
為替換算調整勘定	△7,181	△1,350
その他の包括利益合計	△47,634	62,467
四半期包括利益	72,362	161,561
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	72,362	164,160
非支配株主に係る四半期包括利益	-	△2,598

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	224,281	185,666
減価償却費	51,890	59,052
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4,537	413
返品調整引当金の増減額(△は減少)	2,600	△6,600
賞与引当金の増減額(△は減少)	△42,000	△50,349
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△10,635	548
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	5,850	△11,599
受取利息及び受取配当金	△7,138	△6,464
支払利息	12,246	10,695
為替差損益(△は益)	343	1,093
投資有価証券売却損益(△は益)	△14,631	△30
売上債権の増減額(△は増加)	△226,082	343,076
たな卸資産の増減額(△は増加)	△284,395	77,453
仕入債務の増減額(△は減少)	437,163	△28,773
その他	△5,004	△28,604
小計	139,949	545,578
利息及び配当金の受取額	5,899	10,509
利息の支払額	△12,780	△9,685
法人税等の還付額	1,602	0
法人税等の支払額	△24,133	△93,515
営業活動によるキャッシュ・フロー	110,536	452,887
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	△500,000	498,259
有形固定資産の取得による支出	△23,207	△1,215,348
無形固定資産の取得による支出	△12,351	△12,917
投資有価証券の取得による支出	△4,458	△15,300
投資有価証券の売却による収入	27,078	127
その他	5,516	36,705
投資活動によるキャッシュ・フロー	△507,422	△708,473
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	2,100,000	2,800,000
長期借入金の返済による支出	△1,031,000	△936,600
配当金の支払額	△67,096	△66,938
その他	-	△15
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,001,903	1,796,445
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,049	△8,175
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	601,968	1,532,683
現金及び現金同等物の期首残高	3,543,273	3,153,652
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,145,241	4,686,336

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。